

鯖江生ごみリサイクル市民ネットワーク活動報告

1. はじめに

福井県鯖江市では‘92（H4年）から資源物の分別収集が始まりました。そこで燃えるごみをもっと減らしたいとの思いから、生ごみが堆肥化になる事がわかり岐阜県可児市へ視察に行きました。又比嘉教授の講演をお聞きし、準備会を立ち上げました。

‘94（H6年）2月、家庭から出る生ごみを減量し、自家菜園に還し地球に優しい生活をする必要があるとの事で『鯖江EM研究会』を発足させました。

会ではEMの学習会、情報交換、先進地視察研修会それと市より委託を受けて公募した市民モニターのお世話をしました。4年間で延べ700名の方が市民モニターとして参加しました。そこで町内でグループの輪を作りグループ長を選出し、お世話をしていただくことにしました。‘98

（H10年）3月『鯖江生ごみリサイクル市民ネットワーク』と名称変更して市内10地区間をネットワーク化しました。24グループ、会員406名でした。（現在は33グループ、会員850名で活動しています）。

毎月のボカシI型は授産施設で作ってもらい、グループ長宅へシルバー人材センターの方がトラックで運んでいただきます。グループ長は各会員宅へ届けるシステムなので必ずボカシが手に入ることになり、毎日出る生ごみが処理出来ます。

2. 年間の主な活動

4月、環境教育の拠点となっている「エコネットさばえ」のプランターに花苗を植えました。

5月 EM発酵液、ストチュー、米とぎ汁発酵液の作り方を実習します。

8月「環境フェア2010」では講演、体験コーナー、展示パネル、ミニステージでの発表に参加します。9月先進地視察研修会に行きます。平成22年は京都府南丹市美山町で生産者の方と交流しました。



11月 毎年、収穫感謝祭を行っています。会員の畑から収穫した野菜を中心に又、夏野菜は塩付けしたものを加工して調理します。感謝しながら一同に会し、食事をします。それから毎月例会はエコネットさばえの会場をお借りして第四土曜日に開催しています。

環境浄化としまして5月に惜陰小学校と片上小学校のプールに2000つつEM活性液を投入しました。5年生2クラスの児童達がお手伝いしてくれました。プール掃除は6・5年生全児童が出席して、タワシ、デッキブラシ等でゴシゴシ・・・ぬめりがない、楽しく出来る、との声が聞こえてきました。しかも掃除時間が短縮して大変喜ばれました。

その他吉川小学校4年生の総合学習と平井町児童館で親子体験による「廃食油から手作り石けん」の指導をしました。



3. ごみの現状

鯖江市の21年度の燃えるごみは1人当たり637g/日でした。その内、40%が生ごみと言われていいますので約255gになります。

- ・ 1所帯（4名家族として） $255\text{g} \times 4\text{名} \times 365\text{日} = 373\text{k g} / \text{年}$
- ・ 会員数（所帯数）850名なので $\times 373\text{k g} \div \underline{317\text{t} / \text{年}}$

毎日台所から出る生ごみをこれだけ燃やすことなく堆肥化し、家庭菜園に活用しています。

4. 今後の取り組み

会活動も17年目が過ぎようとしています。過去3回の賞を受けました。

H7年 表彰状（福井県）H14年 表彰状（環境ふくい推進協議会）

H18年 環境デザイン大賞（鯖江市）

これは会員皆様のお蔭でございます。

これからも生ごみ減量はもちろん環境教育、環境浄化、情報提供など多方面で活躍の輪を広めています。

1. 私達で出来る事を楽しみながらすること
2. 負担を少なくし、継続すること
3. 環境に対する意識付けを一人でも多くの方に声掛けをすること
4. グループ間や近所の繋がりを大切にし、地域の底力となること

そして豊かな環境ときれいな地球を守っていききたいものです